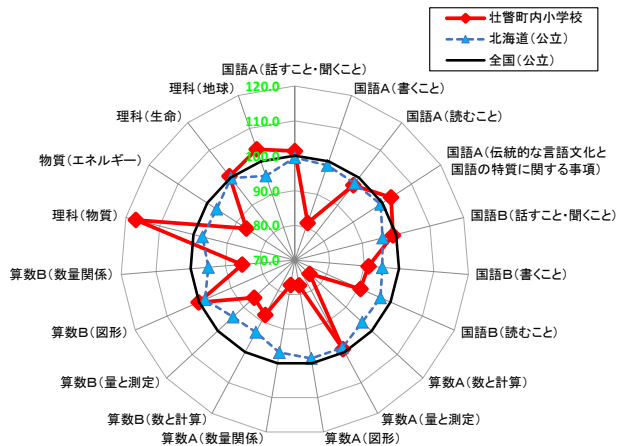


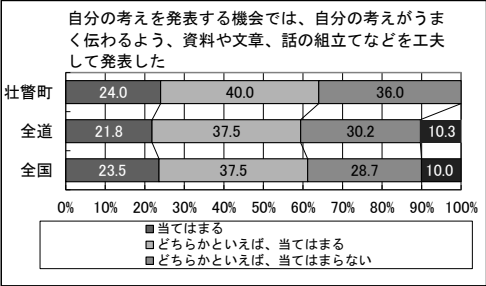
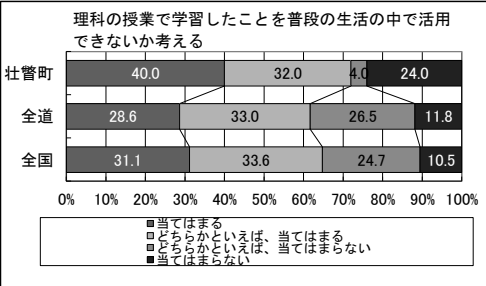
■ 壮瞥町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2校、児童数: 25人)

【教科全体の状況】

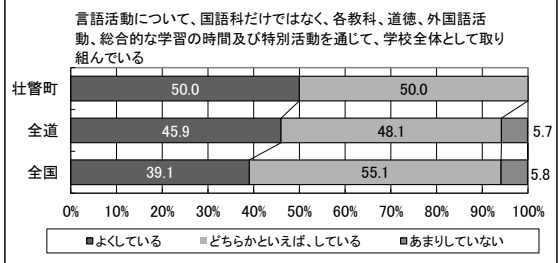
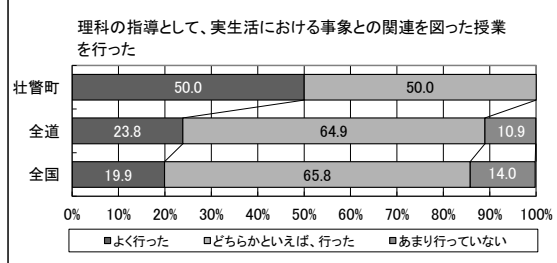
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・理科において、全国を上回っている。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数Bでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」、「生命」、「地球」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が理科の授業において、実生活における事象と関連を図った指導の工夫を行ったことにより、児童は、理科で学習したことを普段の生活の中で生かそうとするようになり、理科では、全国を上回ったと考えられる。 ○ 学校が国語科だけでなく、他の教科や領域において、言語活動の充実を図ったことにより、各教科の学習において、児童は、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表し、国語Aでは、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

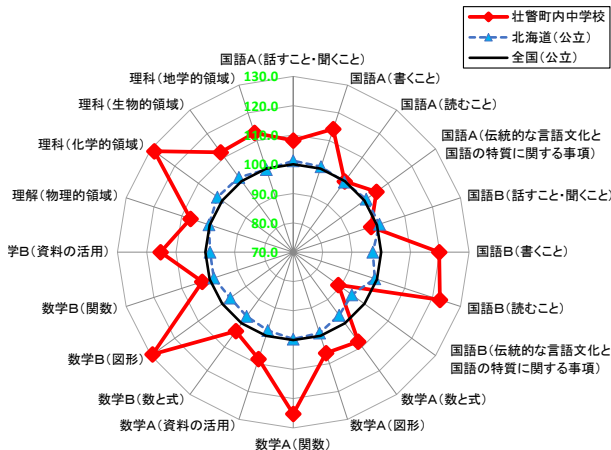
【壮瞥町の学力向上策】

- ◎ 校内研修コーディネーターを活用した指導環境の充実と授業力向上に向けた取組
- ◎ チャレンジテストの活用や長期休業中のサポート学習等による基礎学力の定着に向けた取組の継続
- ◎ 生活リズムチェックシート及び家庭学習の手引き等を活用した基本的な生活習慣の確立、家庭学習の習慣化に向けた保護者の協力による取組の推進
- ◎ TTや習熟度別、少人数指導の実施や実物投影機等のICT機器の効果的な活用による個に応じたきめ細かな指導の継続
- ◎ そうべつ型学校評価システムによる全小・中学校共通の目標に基づく教育活動の推進

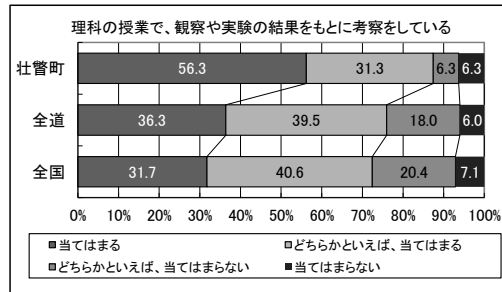
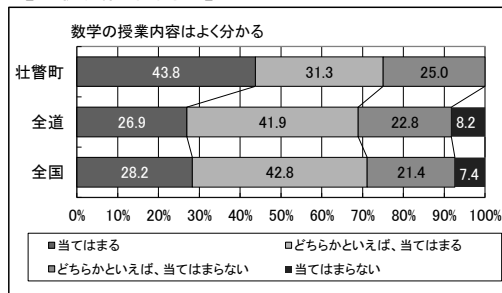
■ 壮警町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 16人)

【教科全体の状況】

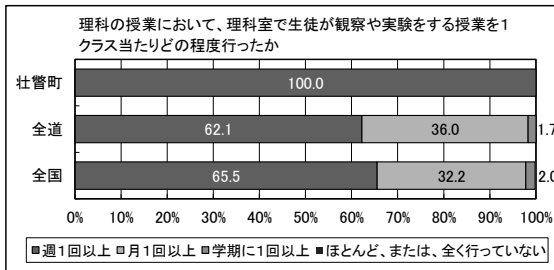
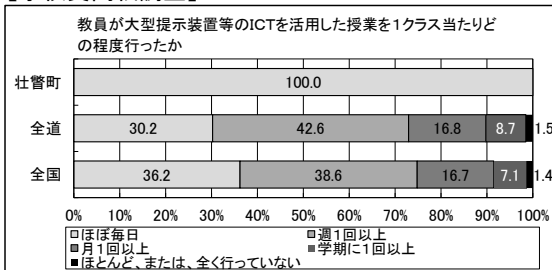
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

調査対象	分析結果
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科において、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」、「読むこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学A・Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物理的領域」、「化学的領域」、「生物的領域」で全国及び全道を上回っており、「地学的領域」では全国を上回っている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の授業内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行った。 ○ 理科の授業において、理科室で生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たり週1回以上行った。

【壮警町の学力向上策】

- ◎ 校内研修コーディネーターを活用した指導環境の充実と授業力向上に向けた取組
- ◎ チャレンジテストの活用や長期休業中のサポート学習等による基礎学力の定着に向けた取組の継続
- ◎ 生活リズムチェックシート及び家庭学習の手引き等を活用した基本的な生活習慣の確立、家庭学習の習慣化に向けた保護者の協力による取組の推進
- ◎ IT指導や実物投影機等のICT機器の効果的な活用による個に応じたきめ細かな指導の継続
- ◎ そうべつ型学校評価システムによる全小・中学校共通の目標に基づく教育活動の推進